



FRIENDSHIP

ふれんどしっぷ
 ねん がつ
VOL.22 2025年4月

●各種会議
 定期総会(5/24)、理事会(5/16、11/29、2/27)、企画会議(5/9、11/14、2/20)にほんごさろんボランティア会議(4/13、1/11)、マイエアチーム会議(8/23)などを実施しました。

●外国語教室
 英語、韓国語とも先生の母国の話を聞いたり、発音、会話などの基礎を楽しく学んでいます。

●季節ごとの館内展示
 会館を訪れる方に季節を感じてもらえるような展示をしています。お雛様、五月人形、七夕飾り、クリスマスなどぜひ見に来てください。

●日本語教室
 日本語サロンの学習の様子です。ボランティアは学生、社会人、外国人にルーツを持つ人、日本語講師の資格を持つ人など様々です。皆さん交流を楽しんでいます。

●地域日本語教室を開催
 外国籍住民を対象とした地域日本語教室(夜)を開催しました。基礎をまなぐクラスと市民パートナーと身近なことを話す対話クラスがありました。最後には交流会を開催し、参加者が文化の交流を楽しみました。

●アルプス学園との交流
 学園のお祭りへ招かれたり、会館のハロウィン飾りを見学に来てもらったり、地域日本語教室への参加など、相互に交流を続けています。

●マイエアフェスティバルとハロウィン
 様々なイベントが開催されました。子どもたちも大いに楽しんでいます。

●山梨学院大学とのコラボ
 原教授の多文化共生を学ぶゼミ生が協会の事業に参加してくれました。学生たちが作ってくれた各国を紹介するパネルを見に来て下さい。

●写真展「感謝」
 ペルー人写真家の城間ピクトルさんの写真展を開催しました。

●山梨県立大学TaSSK(多文化共生専門職機構)のフィールドワークについて
 南アルプス市の多文化共生について、市役所と当協会が取り組むを発表しました。

●市内在住外国人について
 人数：1,517人 国籍：39ヶ国

●使ってみてください
 「やさしい日本語・ハサミの法則」
 *「やさしいにほんご」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。
 *ハサミの法則
は はっきりと さ さいごまで み みじかく

令和6年度法人・個人会員の皆様
 ご入会ありがとうございます!

(株)青柳興業 (有)丸栄商事
 (株)川崎建設 (有)宮田倉庫
 (有)峡西シーエーテーブイ (株)山扇印刷
 小林建設(株) (有)山峡商会
 小林ニットウェア(株) (株)山梨医療福祉研究所
 白根ケーブルネットワーク(株) 山梨メディカルケア協同組合
 医療法人 高原会 W.D.S.(有)和田電気商会
 ときめき会 (株)ワールドワイズ
 (株)ホンダショップ山梨 (株)渡辺新聞店
 (株)マステック (敬称略)

MAIEAチームメンバー募集中
 イベントの企画運営を手伝ってくれるボランティア「マイエアチームメンバー」を募集しています! ライン登録をして、都合の良い時に参加できます。一緒にイベントを盛りあげてください!

新年度会員募集中
 ●年会費：個人¥2,000 法人¥10,000
 ●有効期限：2025年4月～2026年3月
 ●会員特典：
 外国語教室受講料割引、講座・イベントの優先予約、毎月ニュースレターをお届けします。
 *会員家族も割引特典が受けられます。



アメリカ姉妹都市交流訪問団出発式



日本語サロン



マイエアフェスティバル



外国語教室



地域日本語教室



エンジョイハロウィーン2024

みなみ ある ぶ す し こく さい こう りゅう きょう かい
南アルプス市国際交流協会

住所：南アルプス市小笠原471-8
 電話：055-280-8345

HP：https://maiea.org/
 メール：minami.alps.ia@gmail.com



市内在住外国人について (令和7年1月時点)
 人数：1,517人 国籍：39ヶ国

●使ってみてください
 「やさしい日本語・ハサミの法則」
 *「やさしいにほんご」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。
 *ハサミの法則
は はっきりと さ さいごまで み みじかく

みなみ ある ぶ す し そう ぎょう せい さく ぶ せい さく すい しん か
南アルプス市総合政策部政策推進課
 住所：南アルプス市小笠原376 電話：055-282-0149



みなああるぶすし 南アルプス市
こくさいこうりゅうきょうかい 国際交流協会
かいちょう わたなべ じろう 会長 渡辺次朗

あま ねん じむきよくたいせい ぶく ぼつほんてき そしきかいかく はじ ころ なか じむしょいてん くしがたしやかいぶくしかいけん していかんりなど 余り。この6年は事務局体制を含めた抜本的な組織改革に始まり、コロナ禍、事務所移転、櫛形社会福祉会館の指定管理等、どうきょうかい おお へんかくき にほんご さろん がいこくごきょうしつ と き けいせき ちゅうだん べいこく しまい 当協会にとって大きな変革期でした。それでも日本語サロンや外国語教室は途切れなく継続され、中断された米国との姉妹 としこうりゅう さくねんなつ めい ちゅうがくせい ほうもんだん さいかい さら まいえ あちーむ やまなしがくいんだいがくせい くわ 都市交流も昨年夏12名の中学生の訪問団により再開されました。更に「マイエアチーム」には山梨学院大学生も加わり、 たぶんかこうりゅういべんと ねんれんぞく かいさい きょうかい ささ くだ みな がた だいたい りかい きょうりよくこころ かんしやもう あ あいさつ 多文化交流イベントを2年連続で開催しております。これらの活動は当協会の第二創業となり、さらなる成長の可能性を秘め

ていと今、実感しております。
 今後、多文化共生は当市において今以上に大きな可能性をもつ反面、多くの課題も予測されます。変わりゆく社会情勢の中、多くの市民の皆様に必要なとされる協会を目指し、活動を進めて参ります。厳しい環境下におきましても、金丸市長をはじめ、協会を支えて下さる皆さま方の多大なるご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



にほんごぶかい 日本語部会
ぶくかいちょう 副会長
いいくほ ひろゆき 飯久保 博幸

「川で さかなを 五ひき つつた。」 て を あげて へんじを した。」の2文を読み終わった時です。「あっ、わたしの字 (言ったのは 誰か わかりますか?)。2024年度、日本語サロンは土曜日午前中、年間29回、実施されました。ひとりひとりの要望に沿って、ボランティアとともに、楽しく学習できました。大学生をはじめ、学習者、ボランティアとも初参加者が多い年でした。文字 (ひらがな カタカナ 漢字)、日常生活会話、動詞 (活用)、聴き取りなど学習内容は多彩です。継続している学習のなか、七夕飾りの短冊に願いを書いたこと。南アルプス市の好きな所ともしつこうしてほしいところ はな ぶた がくしゅう くわ がくしゅうきほう かた ほら 所を話す、二つの学習も加わりました。学習希望の方、ボランティアに興味のある方、土曜日の午前中、いらしてください。



がいこくごぶかい 外国語部会
ぶくかいちょう 副会長
よだ しんじ 依田 真司

外国語部会では、5月と6月に、2024年度上期の外国語クラスを開催しました。英語と韓国語を各6回ずつ、参加者はそれぞれ7名と9名でした。外国人講師のトークが楽しく、どちらの言語も充実したクラスになりました。単に言語を学ぶばかりでなく、異文化に触れることができる貴重な機会です。インターネットで簡単に外国の情報は入手できますが、生身の人から直接言葉を学び、その人の経験を聞くということはやはりインパクトが違います。年齢もバックグラウンドも異なる市民が集い、新しい出会いの場ともなっています。講師ばかりでなく生徒がお互いから学ぶこともでき、外国語を学ぶという共通目標のもと、和気あいあいとした雰囲気になりました。下期は同じく韓国語と英語で1月と2月に4回ずつ開催しました。今後どうぞお気軽に外国語教室にご参加ください。

しぎょう そうぎょうき せいちようき あんていき へ すいたい む ていせつ 事業には創業期から成長期、安定期を経て、衰退に向かうという定説もあります。なか すいたい せいちよう だいにそうぎょう ぶく あら すてーじ むか その中で衰退せずさらに成長するには、第二創業を含めた新たなステージを迎える時期が有効であるとも言われています。

国際交流協会は南アルプス市誕生前から続き、合併を経て市の協会となり20年 国際交流協会は南アルプス市誕生前から続き、合併を経て市の協会となり20年 余り。この6年は事務局体制を含めた抜本的な組織改革に始まり、コロナ禍、事務所移転、櫛形社会福祉会館の指定管理等、どうきょうかい おお へんかくき にほんご さろん がいこくごきょうしつ と き けいせき ちゅうだん べいこく しまい 当協会にとって大きな変革期でした。それでも日本語サロンや外国語教室は途切れなく継続され、中断された米国との姉妹 としこうりゅう さくねんなつ めい ちゅうがくせい ほうもんだん さいかい さら まいえ あちーむ やまなしがくいんだいがくせい くわ 都市交流も昨年夏12名の中学生の訪問団により再開されました。更に「マイエアチーム」には山梨学院大学生も加わり、 たぶんかこうりゅういべんと ねんれんぞく かいさい きょうかい ささ くだ みな がた だいたい りかい きょうりよくこころ かんしやもう あ あいさつ 多文化交流イベントを2年連続で開催しております。これらの活動は当協会の第二創業となり、さらなる成長の可能性を秘め

ていと今、実感しております。
 今後、多文化共生は当市において今以上に大きな可能性をもつ反面、多くの課題も予測されます。変わりゆく社会情勢の中、多くの市民の皆様に必要なとされる協会を目指し、活動を進めて参ります。厳しい環境下におきましても、金丸市長をはじめ、協会を支えて下さる皆さま方の多大なるご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

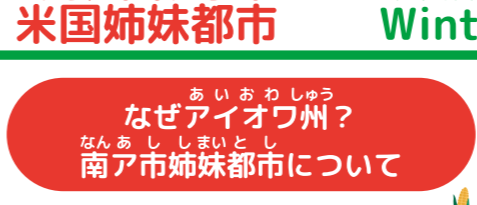


ぶんかこうりゅうぶかい 文化交流部会
ぶくかいちょう 副会長
つちや ゆき 土屋 由貴

コロナ禍の為に中断していた「姉妹都市交流事業」が5年ぶりに再開されました。「姉妹都市を知ろう」、姉妹都市交流説明会を開催。多くの参加をいただきました。両姉妹都市に合計12名の団員募集に多数の応募があり、選考は困難を極めました。厳正な審査の結果選ばれた団員と共にミーティングを重ねて遂に期待と不安で一杯でしたが、空港ではホストファミリーが温かく迎えてくれました。文化の違いを実感する毎日の中で、団員の皆さんの変化と成長を肌で感じ本当に嬉しく思いました。わずか10日間の経験が、団員の皆さんの大きな成長の糧になったと確信した時間でした。次は姉妹都市からの訪問団を受け入れます。市内外各所を訪問しながら交流をさらに深めたいと願っています。



コロナ禍の為に中断していた「姉妹都市交流事業」が5年ぶりに再開されました。「姉妹都市を知ろう」、姉妹都市交流説明会を開催。多くの参加をいただきました。両姉妹都市に合計12名の団員募集に多数の応募があり、選考は困難を極めました。厳正な審査の結果選ばれた団員と共にミーティングを重ねて遂に期待と不安で一杯でしたが、空港ではホストファミリーが温かく迎えてくれました。文化の違いを実感する毎日の中で、団員の皆さんの変化と成長を肌で感じ本当に嬉しく思いました。わずか10日間の経験が、団員の皆さんの大きな成長の糧になったと確信した時間でした。次は姉妹都市からの訪問団を受け入れます。市内外各所を訪問しながら交流をさらに深めたいと願っています。



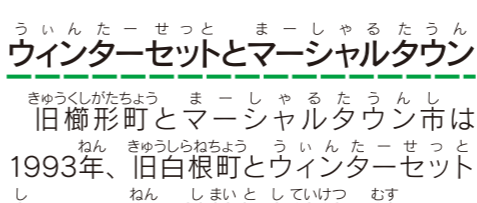
なぜアイオワ州？ 南ア市姉妹都市について

伊勢湾台風とホッグリフト

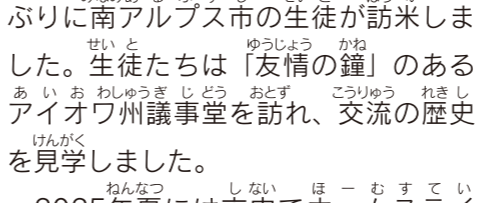
1959年9月、伊勢湾台風が山梨県をおそいました。甚大な被害で県民の生活に影響が出ました。当時アイオワ州に住んでいたリチャード・トーマス氏は山梨県に軍曹として駐留していた経験がありました。彼は県民の被災に心を痛め、種豚を贈り、農業復興の支援をアイオワ州内に呼びかけました。アイオワ豚は35頭、飼育に必要なとうもろこしは1.5トン、米国空軍が羽田空港に飛行機で輸送しました (ホッグリフト)。この豚が後の山梨ブランド豚「甲州富士桜ポーク」の先祖です。山梨県は特別な友情を育てているようにと、姉妹県になることを提案し、1960年に日米で最初の姉妹県となりました。また県は翌年、友情と感謝の気持ちを含めて「友情の鐘と鐘楼」をアイオワ州に贈りました。

ウインターセットとマーシャルタウン

旧櫛形町とマーシャルタウン市は1993年、旧白根町とウインターセット市は1999年に姉妹都市締結を結びました。2003年に6町村が合併後、南アルプス市が誕生し、姉妹都市も再締結を結びました。現在も中学生のホームステイを通して交流が続いています。2024年夏にはコロナ禍以降、5年ぶりに南アルプス市の生徒が訪れました。生徒たちは「友情の鐘」のあるアイオワ州議事堂を訪れ、交流の歴史を見学しました。2025年夏には市内でホームステイ受け入れ事業をします。訪問団を市内で見かけた際は、ぜひ温かい声をかけてください。次回2026年度訪問団募集は2025年秋です。広報などでお知らせします。



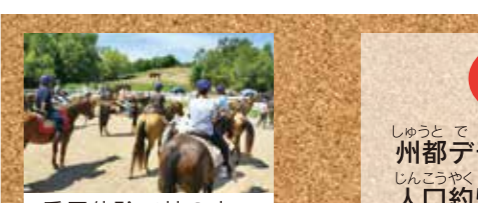
スクールバスで市内観光



トラクターが大きい！



アイオワ州議事堂「友情の鐘」にて



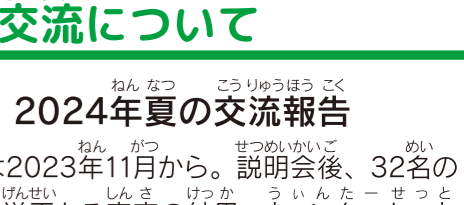
乗馬体験で林の中へ



アメリカのお寿司！



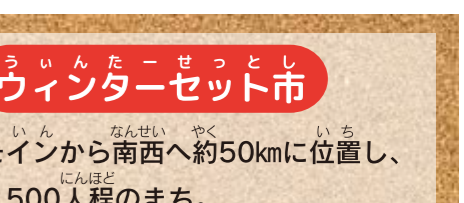
流行りのピククルボール



2024年夏の交流報告

訪問団員募集は2023年11月から。説明会后、32名の応募者があり、厳正なる審査の結果、ウインターセット6名、マーシャルタウン6名の訪問団員が決定しました。引率者は各市2名ずつでした。訪問団員は2024年1月から事前研修(5回)を受け、7月29日(月)～8月8日(木)アメリカで全日程ホームステイをしながら交流しました。

8月30日(金)に帰国報告会を開催し、交流の様子を市長や市民の皆さんに報告しました。交流の様子は以下よりご覧ください。



①市国際交流協会に設置してある写真パネルやホームページ (http://www.maiea.org/)、右のQRコードから



②市役所各支所や図書館、小中学校にお届けした交流報告書やパネル



ときどき警察署見学



日米マクドナルド比べ